

# 平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,747,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

## ●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	4,310	5,575	5,810	5,221	5,915
	移動児童館利用者数	351	605	336	371	244
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	9	11	8	8	5
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は所長を含め3人) ③毎月おたよりを発行し、担当小学校、公民館、コミセンに配布。芥見東・南自治会へ回覧、児童館ホームページの更新。 ④適切に対応し、防止策を確認。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、節電を実施。廃材の活用、有るものの再利用。 ④専門業者による野外遊具の点検。日常的に遊具の不具合や危険がないか確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②修繕を要する事態が生じた場合は迅速に対応する。大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。②消防訓練を1回実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成29年7月に登録制幼児クラブに参加の保護者17人を対象に無記名によるアンケートを実施 回答者数 12名</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○参加した幼児クラブ なかよしクラブ 2人、すくすくクラブ 10人</p> <p>○東児童センターの幼児クラブをどこで知ったか。 知人・友人 6人、センターに遊びに来て 2人、チラシ 2人、ホームページ 1人 他</p> <p>○児童センターについて (施設)満足 6人、ほぼ満足 2人、普通 2人、やや不満 2人、不満 0人 &lt;やや不満の理由&gt; 駐車場が遠い、建物がもっと広いと良い (職員)満足11人、ほぼ満足 1人、普通 0人、やや不満 0人、不満 0人</p> <p>○幼児クラブについて 良かった11人、まあまあ良かった 1人、普通 0人、あまり良くなかった 0人、良くなかった 0人</p> <p>○クラブで感じたこと 回数増えるごとに、子どもが場所と先生やお友だちに慣れてくる様子が見れてうれしかった。 親子でゆったりとした時間がすごせました。 情報交換ができた。等</p> <p>○参加の幼児クラブ以外で、今後も参加してみたいもの 親子リトミックや観劇会 9人、児童センターまつり 7人、自由参加型幼児クラブ 4人、子育て講座 3人</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 特になし</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	B	B
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□4月以降の幼児・児童の利用者が減少傾向であるが、ひとつの原因としては、昨年度小学生の利用者で多かった6年生が中学生となり、部活などでなかなか遊びに来れなくなったこと、幼児に関しては、働くお母さんが増え、保育園や幼稚園の未就園児クラスに入園したことが挙げられる。</p> <p>□毎月発行しているおたより「げんき」の裏面に地図を印刷したり、親子ふれあい教室に出向き、幼児クラブのPRしたり、保健師さんを通じて0歳児親子対象とした案内を配布していただいている。</p> <p>□普段なかなか児童センターが遠くて利用できない児童の為に、夏休みを利用して、芥見公民館での児童対象行事を実施した。案内は岩・芥見・芥見東小学校の全児童に配布し、芥見公民館にもチラシを置いた。申し込み窓口を児童センターと芥見公民館でおこない申し込みし易くした。定員15人のところ、5人の申し込みであった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>□昨年度実施した「なわとび選手権」に引き続き、子どもたちに人気の新聞跳び遊びを「新聞ハードル」とし、行事としておこなった。子どもたちのやる気や競争意識を引き出せるよう取り組むだけでなく、がんばっている友だちの姿を認められるよう声かけした。</p> <p>□ドッジボールなど中学生でも参加できる行事も計画したが、参加は無かった。なつまつりのお手伝いは、部活の大会などが重なり1人であった。</p> <p>□利用者アンケートを一部変更した。 ①施設・幼児クラブ・職員についての満足度を5段階で○をするだけでなく、何が不満、やや不満なのか分かるようにした。 ②幼児クラブを何で知ったかという項目を加えた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□幼児・小学生ともに利用者が減少しているため、小学生がチャレンジできるような行事の実施など見直しを行う。また、低学年の利用者が少ないので、近隣の小学校の放課後児童クラブに出向き、遊びや工作などを実施することで利用者増を図る。幼児に関しては、地域の子育て支援に関わっている方と情報交流をおこない、利用者アンケートでできた意見を積極的に活動に取り組みしていく。</p> <p>□引き続き「チェスに挑戦」や「卓球に挑戦」など、地域の高齢者の方との行事を実施していく。</p> <p>□移動児童館のチラシを作成し、子ども会や子育てサークルに配布する。</p>

●所管課の意見

毎月の児童センターのおたよりを担当小学校へ配布のほか、地域の公民館・コミュニティセンターに配置、各自治会に回覧の依頼、また、ホームページにも行事案内を掲載するなどの広報活動を行った。

今期利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績は、対直近3年の平均比84.6%のため、「利用促進、利用者増の方策」についての評価をBとした。

移動児童館は上半期9回の開催で、仕様書による目標数値の24回/年(2回/月)の達成度は上半期中では下回っているため、数値を達成するよう下半期努力して頂きたい。

地元住民の指導による児童へのチェス・卓球指導を継続して開催しているほか、地域のグループホームへの訪問、地元夏祭りへ参加するなど積極的に地域に関わった。

今期台風の接近が相次いだが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。

職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。

●指定管理者評価委員会の意見

子ども達が地域の高齢者と接する機会は大変貴重で大事なことであり、今後も取組みを継続して頂きたい。

定員15人のところ5人しか申し込みの無かった公民館で開催した児童対象行事について、なぜ参加希望が少なかったのか、PRの仕方等を検証し、次回多数参加が見込めるよう工夫を行い、児童センターから遠い児童の利用促進に努めて頂きたい。

利用者アンケートは施設のよりよい改善について大切で貴重な意見であり、今回幼児クラブ保護者から得た回答数12人では非常に少ない為、アンケート対象者等を再度検討し、母数が増えるようにして頂きたい。

他の児童館で行っている父親向けの子育て支援事業は、父親の育児参加を積極的に促す取組みとして非常に有意義であると考えられることから、今後積極的に他の児童館でも取り入れて頂きたい。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。